

## 探究II(文系)

## 第2回 問いを立てる力をつけよう

組 番 氏名：

探究活動をする際、疑問を持って取り組んでいますか？「これってどうゆう意味？」、「どうやってやるんだろう？」といった「問い」を立てることは、探究のサイクルを回す際にとっても重要になります。2年生の探究では、

- ・「身の周りのことに疑問を持ち、探究する力」
- ・「問いを立て、それを解決していくことで、自分自身と社会のつながりを見出す力」

を身につけてほしいと思います。

## STEP1 身近なことから、疑問点を探そう！

## 考えるときのヒント

	着眼点		問いの例
1	定義	どうゆう意味？	高齢化の定義は？
2	時間	いつまで？	感染症対策はいつまで必要か？
3		いつから？	「学校」はいつから始まった？
4	因果	なぜ？なにが原因？	宿題はなぜめんどくさい？
5	解決策	どうすべきか？	小浜市の人口を増やすためには何をすべきか？
6	比較(差異)	AとBはどう違う？	邦楽と洋楽の特徴の違いは？
7	仮定	もし～なら	もし小浜市に地下鉄を作るなら、何が障壁なのか？
8	原点	そもそも	そもそもなぜ制服が多く的高校生に好まれるのか？

例)「学校の課題はなぜ無くならないのか。」

STEP1 で出てきた疑問点の背景にあるものを深めて考えていくことで論理的、探究的に考える力が付きます。

## STEP2 あなたの疑問の背景を探ろう①

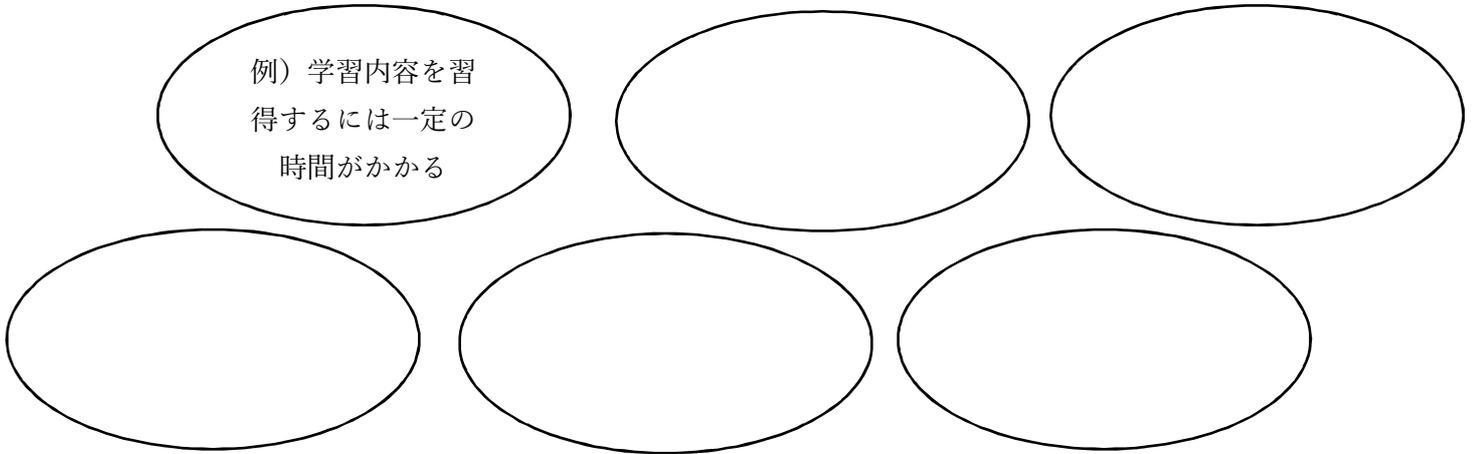
STEP1 の疑問点について1つ取り上げ、「では、どうなったらいいと思っているの？」を考えてみよう。例) 課題について→生徒が自分にとって必要なことに時間を使えるようになったらよい。

例) 課題について→生徒が自分にとって必要なことに時間を使えるようになったらよい。

### STEP3 あなたの疑問の背景を探ろう②

STEP2 で出てきた意見は、自分の考える「理想の姿」です。では、なぜ“現状”その姿になっていないのかを考えてみましょう。これが現状把握になります。

\*今回は考えることに焦点をあてますが、これからの探究活動では更に文献や資料などの客観的な現状把握も大切です。

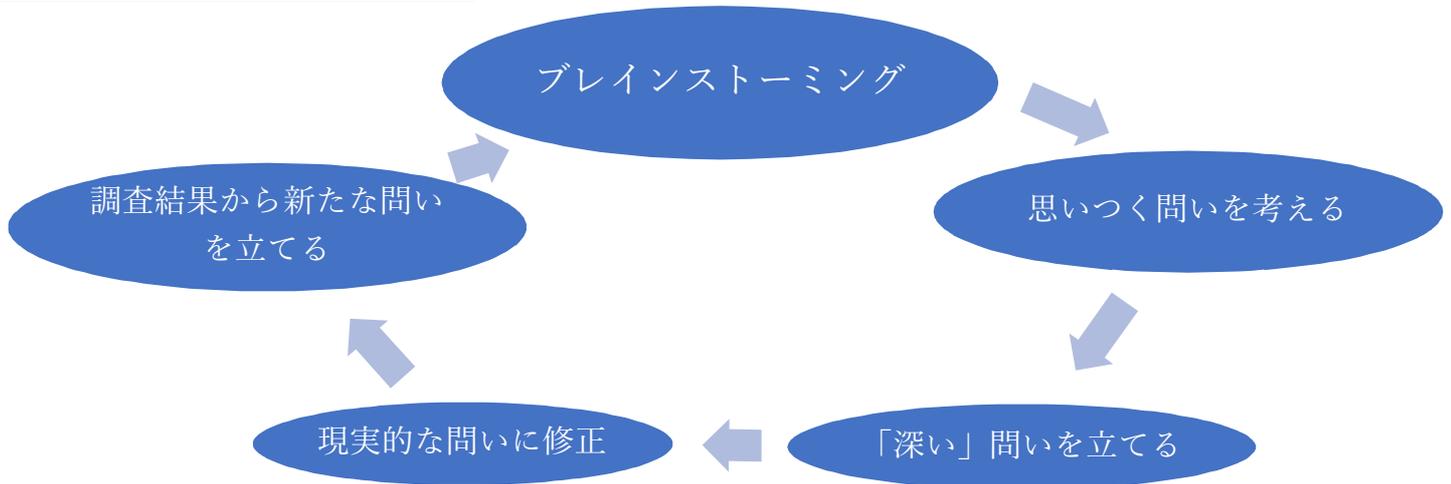


### STEP3 「問い」から探究テーマへ

身近な疑問から、その背景や要因を探ることで探究すべき「問い」を見つけよう

例) 「学校の課題はなぜ無くならないのか。」 → 「教科別の学習時間と習熟度の関係は？」  
「生徒のやる気と習熟度を維持する課題の最適な量と形式は？」

### 探究課題（問い）の設定プロセス



今日の授業で学んだことを振り返ろう！

---

---

---